

世界史

(問題)

2018年度

<2018 H30120111>

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～10ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I

アジアの4つの都市に関する以下の文章①～④を読み、下記A、Bに答えよ。

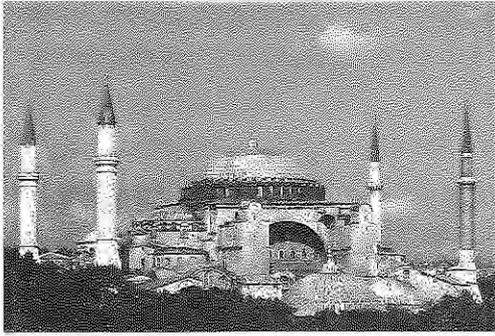
- ① 黄河の支流沿いに位置し、紀元前8世紀以降、いくつかの王朝がここを首都とした。 **b** の乱によって関中が荒廃すると、王朝の実権を握った朱全忠は一時ここに遷都するが、まもなく自ら帝位につくとともに、**c** に遷都した。その後も、五代の間にはこの都市を首都とした王朝もあったが、次第に **c** の優越性が高まっていく。
- ② 大運河の整備にともなって、長江水系と緊密に結びついた物資の集散地として発展し、時期によっては政治的な中心ともなった。 この都市の傍らを流れる錢塘江は、**e** に開口する湾に注いでいるが、河口付近は水深が浅く、海港としては条件がよくない。むしろ、同じ湾の南岸沿いにある **f** の方が、海港として重要である。時代により明州とも呼ばれた **f** は、1842年の南京条約で開港した5港に含まれている。
- ③ **g** 川の支流であるヤムナ川の河岸に位置し、16世紀初めにアフガン系の王朝が首都とした。この王朝を倒して勢力を拡大した王朝では、首都はしばしば移動したが、第3代君主はこの都市を首都に定め、城塞を建設した。 その後、父親である 第5代君主 をこの都市の城塞に幽閉して権力を握った第6代君主のときに、王朝の版図は最大に達した。
- ④ はじめクーパー帯を根拠地としていた王朝は、第2代君主のとき、**j** 川西岸にこの都市を築いて首都とした。この土地は、**j** 川ともう一つの大河が接近している交通の要所であり、付近には古くからいくつかの都市が築かれてきた。**k** もその一つである。ただし、新都は既存の城市に手を加えたものではなく、綿密に設計された計画都市で、円形の城壁に囲まれていた。この都市は長く繁栄を保ったが、モンゴルの侵攻によって大きな損害を受けた。

A 下記の問い1～8に対する最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

- 1 下線部 a に関連して、この都市が王朝の首都であった時代の出来事はどれか。
 イ 卑弥呼の使者が来訪し、皇帝は卑弥呼に「親魏倭王」の称号を与えた。
 ロ 文成帝のとき、西郊の雲崗に石窟寺院が作られはじめた。
 ハ 倭から送られた国書を読んだ煬帝が、文辞が無礼であるとして立腹した。
 ニ インドから帰国した玄奘が、近郊の大慈恩寺で訳経に従事した。
- 2 空欄 b に当てはまる語はどれか。
 イ 安史 ロ 紅巾 ハ 黄巾 ニ 黄巢
- 3 下線部 d に関連して、この都市が王朝の首都であった時代の出来事はどれか。
 イ この都市を含む地域が穀物生産の中心であったことから、「湖広熟すれば天下足る」という諺が広まった。
 ロ 平氏政権との間で貿易が行われ、この都市を訪れた日本人もいた。
 ハ マルコ＝ポーロがこの都市を訪れ、「まちがいもなく世界第一の豪華・富裕な都市」であると述べた。
 ニ 鄭和の率いる艦隊がこの都市から出港した。
- 4 空欄 e に当てはまる語はどれか。
 イ 渤海 ロ 黄海 ハ 東シナ海 ニ 南シナ海
- 5 下線部 h の政策・事績に関する記述として、適切なものはどれか。
 イ 非ムスリムに対するジズヤを廃止した。
 ロ クリム＝ハン国を臣属させた。
 ハ ポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。
 ニ マラーター王国と戦ってデカン地方を制圧した。

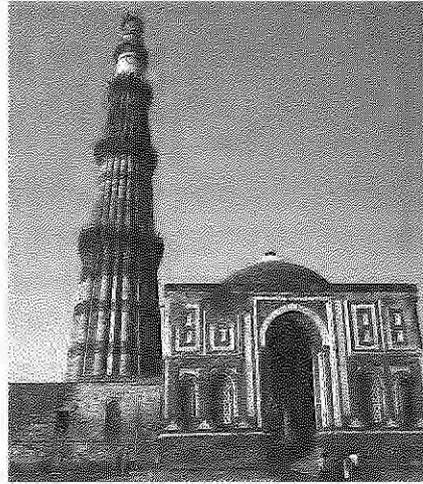
6 下線部 i がこの都市に築いた建築物はどれか。

イ



※Web公開にあたり、著作権者の要請により
出典追記しております。
Robert Raderschatt/CC-BY-SA-3.0/
Wikimedia Commons

ロ ※1



ハ ※2



ニ



7 空欄 k に当てはまる都市名はどれか。

イ イスファハーン ロ ケテシフォン ハ ニネヴェ ニ ペルセポリス

8 下線部 l の後の状況に関する記述として、適切なものはどれか。

イ モンゴル軍を率いてこの都市を占領したフラグは、カリフの権威を認めて、スルタンの称号を受けた。

ロ ローマ教皇は、イスラーム勢力を挾撃するために、この都市にいたフラグのもとにプラノ＝カルピニを派遣した。

ハ バイバルスらの率いるマムルーク朝軍は、アイン＝ジャールートの戦いでモンゴル軍を破り、シリアから駆逐した。

ニ フラグの建国したイル＝ハン国は、当初タブリーズに首都を置いていたが、第7代のガザン＝ハンのときにこの都市に遷都した。

B 空欄 c, f, g, j に当てはまる語を記述解答用紙に記せ。

※1

Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
CC-by-sa PlaneMad/Wikimedia/
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Qutab_Minar_mausoleum.jpg#/media/File:Qutab_Minar_mausoleum.jpg

※2

Web公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
CC-by-sa PlaneMad/Wikimedia/
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Qutab_Minar_mausoleum.jpg#/media/File:Qutab_Minar_mausoleum.jpg

II

以下の【史料1】～【史料4】を読み、下記A、Bに答えよ。

【史料1】

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(コンゴ王国ジンガムベンバ(アフォンソ)王からポルトガル王ジョアン3世への書状, 1526年。出典:岡倉登志『アフリカの歴史』2001年。一部改変)

[史料2]

今日までの啓蒙の時代の歴史をふり返ってみると、繁栄のなかにいるわれわれは、**b** 貿易のようなわが国にとって不面目かつ不名誉なことが、これほど長い期間存続していることが不思議でしかたがない。

(W.ウィルバーフォースのイギリス議会下院での演説, 1789年。出典:同上。一部改変)

[史料3]

この取引は締約国によって承認された国際法の原則に従って禁止されており、また、海陸を問わず取引のための**b**を供給する活動も禁止されていることに鑑み、締約上のコンゴ盆地において主権もしくは影響力を行使する国、もしくは行使しようとする国は、当該領域をいかなる種類の**b**であれその取引の市場にも中継地にもさせないことを宣言する。締約国はいずれも、この取引を廃止し、それに従事する者を罰するためのあらゆる手段を講ずる義務を有する。

(バルリン会議一般議定書第2章第9条, 1885年2月26日。出典:歴史学研究会編『世界史史料8 帝国主義と各地の抵抗I』2009年。一部改変)

[史料4]

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(野外集会での演説, 1963年8月28日。出典:Brian MacArthur, ed., *The Penguin Book of Twentieth-Century Speeches*, 1993.)

A 下記の問い1~7について、最も適切な答えをイ~ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 [史料1]の時点でポルトガルが領有していなかったのはどこか。

イ ブラジル □ マカオ ハ ゴア ニ マラッカ

2 [史料2]のような事態が長く続き、その廃止後も同様の収奪が続いた理由として、列強が植民地におけるプランテーションや鉱山の経営と産出物の輸出に依存していたことが挙げられる。イギリスが保有した植民地名とその地のプランテーションや鉱山の代表的産出物の組み合わせとして正しいものを選べ。

イ マレー連合州, アバカ □ インドネシア, 綿花 ハ ジャマイカ, 銀 ニ フィジー, 砂糖

3 [史料2]と[史料3]の間に起きた以下のできごとのうち、空欄**b**と最も関わりの少ないものは何か。

イ ハイチ革命 □ リベリア共和国独立 ハ ウラビー運動 ニ 南北戦争

4 アメリカで空欄**b**を題材に小説を発表し、アメリカ北部における空欄**b**への反対運動に影響を与えた人物は誰か。

イ ヘミングウェイ □ デュボイス ハ ストウ ニ トウエイン

5 各列強が空欄**b**の制度廃止を決めた後、それに代わって多くの地域でアジア人の契約労働者が導入されたが、そのうち、日本人契約労働者がほとんど雇用されなかった地域はどこか。

イ ケニア □ ハワイ ハ ブラジル ニ ニューカレドニア

6 [史料3]の会議で他に決められたことは何か。

イ ルーマニアの独立承認 □ コンゴ自由国の解体

ハ イギリスによるキプロス島の占領 ニ イギリスによるニジェール川河口の統治

7 [史料4] の演説を行ったのは誰か。

イ マルコム=X ロ キング牧師 ハ エンクルマ (ンクルマ) ニ J.F.ケネディ

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

1 空欄bに入る語を記せ。

2 [史料2] の演説の背景には、実業家や様々な階層のイギリス市民からなる民間団体による空欄b廃止運動の盛り上がりや、国際的連携があった。こうした団体は、その国際社会における役割がとみに増大した1970年代以降何と呼ばれるようになったか。総称を記せ。

3 [史料4] の演説や集会がその一環として組織された運動の名称を記せ。

4 空欄bが廃止されて久しい現在でも、下線部aに類する行為が世界各地で行われており、国際連合などの各種国際組織や地域機構をはじめ、各国が対策を講じている。下線部aに類する行為を現代では何と呼ぶか、漢字4文字で記せ。

III

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

共和政末の約100年にわたる内乱は、紀元前31年のアクティウムの海戦をもって終息した。最後の勝者となったオクタウィアヌスは、前27年に元老院から「アウグストゥス」の称号を与えられ、皇帝に等しい権力を獲得した。その後ネロなど暴君が現れたが、皇帝が元老院などローマの伝統的諸制度を尊重する統治体制は揺るがず、約200年にわたり「ローマの平和」と呼ばれる繁栄の時代が続いた。その後半期の皇帝たちは「五賢帝」と呼ばれ、その二番目の皇帝b c の時代にローマの版図は最大に達した。

d 「五賢帝」の最後の皇帝の息子が、皇帝となり暴君化した末に暗殺されると、次の皇帝位をめぐる争いが起った。結局北アフリカ出身のセプティミウス=セウェルスが、配下の軍団に推されて皇帝になり、争乱を收拾した。セウェルスは、元老院を軽視し、軍団を優遇した。セウェルスの息子カラカラ帝は父の路線を継承し、紀元後212年の勅令で e にローマ市民権を与えた。その後辺境ではゲルマン民族やササン朝ペルシアの侵入が頻繁になり、属州の軍団が各地で自立化する動きを強めていった。やがて各地の軍団が勝手に皇帝を擁立して争い合う軍人皇帝の時代が到来した。辺境地帯は内乱に加えて異民族の侵入に悩まされ、諸都市は軍団と異民族による徴発や掠奪に苦しんだ。およそ50年続いた混乱に終止符を打ったのが、ダルマティア出身で兵卒から皇帝になった h だった。

h の退位後、一時帝国は争乱に陥ったが、これを平定したのが、イリリウム出身で低い身分から皇帝に出世した人物の息子 i だった。皇帝となった i は、 h と同じく皇帝専制を進める一方、313年の勅令でキリスト教を公認し、教義の統一を目指して325年にニケーア公会議を開催した。その後、ユリアヌス帝が古典文化の復興を試み、キリスト教の優遇をやめたが、キリスト教は拡大を続け、392年にテオドシウス帝によって国教化された。テオドシウス帝の死とともに帝国は東西に二分され、 j 帝国の西半分ではゲルマン民族の侵入がますます激しくなった。そして西ローマ帝国は、476年にゲルマン民族の傭兵隊長によって滅ぼされた。一方、 k 東ローマ帝国はその後も繁栄し、 l オスマン帝国によって滅ぼされる1453年まで存続した。

A 下記の問い1～7について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部aに関する説明として誤っているのはどれか。

イ 内乱は、ポエニ戦争末期のグラックス兄弟の改革をめぐる対立から始まった。

ロ 内乱では、閥族派のスラと平民派のマリウスが対立した。

ハ 内乱の最中に、同盟市戦争や剣闘士スパルタクスが指導する反乱が起こった。

ニ 内乱末期に、終身独裁官になったカエサルは間もなく共和主義者たちに暗殺された。

2 空欄eが新たに属州に加えた地域は次のうちどこか。

イ ガリア ロ ダキア ハ トラキア ニ ヒスパニア

3 下線部 d の説明として誤っているのはどれか。

- イ 「五賢帝」のひとりアントニヌス＝ピウスの養子となって、皇帝に就任した。
- ロ メソポタミアやアルメニアの征服地を放棄し、ブリタニアに長城を築いた。
- ハ 後期ストア派の哲学者で、『自省録』を著し、「哲人皇帝」とも呼ばれている。
- ニ 中国の『後漢書』のなかで、「大秦王安敦」と記されているのがこの人物である。

4 下線部 f に関する説明として誤っているのはどれか。

- イ 最盛期の王ホスロー 1 世は、西では東ローマ帝国と戦う一方、東では突厥と結んでエフタルを滅ぼした。
- ロ ニハーヴァンドの戦いでヤズデギルド 3 世の軍がイスラーム軍に大敗し、その後まもなく王朝は滅亡した。
- ハ 国教とされたゾロアスター教は、インドに伝わるとパールシー教と呼ばれ、中国に伝わると景教と呼ばれた。
- ニ ギリシアやインドの影響を受けた美術工芸品は、中国を経て日本に伝わり、正倉院に作品が収蔵されている。

5 空欄 h の説明として誤っているのはどれか。

- イ 元首政（プリンキパトゥス）に代わり、専制君主政（ドミナトゥス）を開始した。
- ロ 正帝 2 人と副帝 2 人で統治を分担する、「四分統治制（テトラルキア）」を開始した。
- ハ 軍の強化と税収の確保のために、コロヌス（小作人）の移動を禁じる法令を発した。
- ニ ローマの神々や皇帝への礼拝を義務づけ、これに従わないキリスト教徒を迫害した。

6 下線部 l に関する説明として誤っているのはどれか。

- イ 西ゴート族は、4 世紀末にドナウ川を渡ってローマ帝国領内に進入し、その後ガリア西南部からイベリア半島にかけての地で王国を建国した。
- ロ ヴァンダル族は、5 世紀初めにローマ帝国領内に進入し、その後イベリア半島を経て、ガイセリック王のもとで北アフリカに王国を建国した。
- ハ 5 世紀中頃にフン人支配を脱した東ゴート族は、テオドリック大王のもと 493 年にオドアケルを倒し、イタリア半島を中心に王国を建国した。
- ニ ライン川上流域に定住していたランゴバルド族は、5 世紀中頃にローマ帝国領内に進入し、北イタリアを経て、ガリア中南部に王国を建国した。

7 下線部 m のユスティニアヌス大帝の説明として誤っているのはどれか。

- イ 東ゴート王国とヴァンダル王国を滅ぼし、地中海世界をほぼ回復した。
- ロ トリボニアヌスらに命じて、ローマ法の一大編纂事業を行なわせた。
- ハ コンスタンティノープルに、ハギア＝ソフィア聖堂を建設（再建）した。
- ニ ヴェローナのサン＝ヴィターレ聖堂に、モザイク壁画の肖像が残っている。

B 下記の問い 1～7 について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 下線部 b の時代の歴史家タキトゥスの作品で、ブリタニア総督を務めた岳父の伝記は何か。
- 2 空欄 e に当てはまる語句を記せ。
- 3 下線部 g のひとりで、ササン朝ペルシア軍に敗れ、捕虜となった皇帝は誰か。
- 4 空欄 i が造らせた金貨は、東ローマ帝国（ビザンツ帝国）では何と呼ばれたか。
- 5 下線部 j で活躍したカイサリアの司教で、最初のキリスト教教会史家と呼ばれるのは誰か。
- 6 下線部 k の約 60 年後に開かれたカルケドン公会議で退けられたが、シリアやアルメニア、エジプトなどの教会で受け入れられた教義は何か。
- 7 下線部 n の時までオスマン帝国の首都が置かれたアドリアノープル（エディルネ）を、ビザンツ帝国から獲得したスルタンは誰か。

IV

以下の文章を読み、下記A、Bに答えよ。

17世紀後半に入ると、イギリスの議会内には、王政を重んずるトーリ党と、議会の権利を主張するホイッグ党という二つの党派が生まれていた。1680年代の終わりには、イギリスの絶対王政は終わりをつげ、議会主権にもとづく立憲王政の基礎が築かれた。アン女王の時代に、イングランドとスコットランドが合同して大ブリテン王国が成立したが、その死でステュアート朝は絶え、遠縁にあたるドイツのハノーファー選帝侯がジョージ1世として即位し、ハノーヴァー朝をひらいた。彼は英語やイギリスの慣習をあまり解さなかったので、議会の多数派にもとづく政党内閣に行政をゆだねる **c** 制への道を開いた。

18世紀後半、世界初の産業革命が始まったイギリスでは、新しい経済思想が生まれた。アダム＝スミスは、フランスのケネーやテュルゴーが主張した **e** 主義の影響を受けつつも、富の源泉は人間の労働一般にあるとし、個人の自由な経済活動が自然の秩序にかなうという自由主義の経済学を確立した。**f** はこの理論を受け継ぎ、資本主義経済の分析を深めた。また、彼らは16-18世紀にかけてヨーロッパの絶対王政諸国で行われていた **g** 主義的な経済政策を批判して自由貿易論（自由貿易主義）を主張した。

産業革命を最初に成し遂げたイギリスは「世界の工場」の地位を占め、自由貿易論を振りかざして世界市場の支配に乗り出したが、これに対抗して近代的な国民経済の確立をはかる国々も、イギリスにならって産業革命を達成した。遅れて産業革命を進める後発資本主義国では、自国の産業をまもるための保護 **h** 論が主張された。**i** がその代表的理論家である。実際、1834年にはプロイセンが中心となって諸邦国がドイツ **h** 同盟を形成した。

ナポレオン戦争後のウィーン体制の復古的な風潮に対して、各国のブルジョワジーは自由主義で対抗した。イギリスでは選挙法改正も実現して腐敗選挙区が撤廃され、産業ブルジョワジーの政治的発言力が増大していた。その結果、地主を保護する穀物法は廃止され、自由貿易論が優勢となる。内政では、ホイッグ党の後身である **k** 党とトーリ党の後身である **l** 党の2大政党が、交互に政権を担当して典型的な議会政治を樹立した。

しかしヨーロッパ諸国が、自国の産業革命を通じて経済的な対英依存から抜け出すにつれて、自由貿易論では軽視されていた植民地の重視がまた始まった。このため、スエズ運河の支配、インド帝国の成立のほか、あらたな植民地の拡大に乗り出すとともに、カナダなどアングロ＝サクソン系植民地に次々と自治権を与えて、本国との連絡を緊密にした。しかし、国内では1801年に併合した **m** の自治問題が解決されず、国外では19世紀末にアメリカやドイツの急激な工業発展に脅かされ始めた。

A 下記の問い1～4について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 a に関するイギリスの出来事①～④を年代順に正しく記した組み合わせはどれか。

- ① 議会が「権利の請願」を可決して国王に認めさせる。
- ② オリヴァー＝クロムウェルが独裁政権を確立する。
- ③ 国王が議会の提出した「権利の宣言」を承認し、「権利の章典」が制定される。
- ④ 内乱が勃発、勝者により共和政が打ち立てられる。

イ ①→②→④→③ 口 ①→④→②→③ ハ ②→③→①→④ ニ ④→②→①→③

2 下線部 b の出来事が起こった年を挟んで展開していた戦争はどれか。

- イ スペイン領ネーデルラントをめぐる戦争
- 口 シュレジエン奪回を目指すオーストリアとプロイセンとの戦争
- ハ スペイン王位の継承権をめぐる戦争
- ニ マリア＝テレジアのハプスブルク家継承をめぐる戦争

3 空欄 e と g に入る語句の組み合わせとして適切なものはどれか。

- イ e 重金 g 功利
ロ e 重商 g 保護
ハ e 保護 g 重農
ニ e 重農 g 重商

4 空欄 f と i に入る人物名の組み合わせとして適切なものはどれか。

- イ f コプデン i エンゲルス
ロ f リカード i リスト
ハ f コプデン i ヘーゲル
ニ f リカード i マルクス

B 下記の問い 1～7 について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 空欄 e に入る漢字 4 文字は何か。
- 2 下線部 d が 1776 年に公刊した著作物の題名を記せ。
- 3 空欄 h に入る漢字 2 文字は何か。
- 4 下線部 j の結果、ある国から別の国へ譲渡された後、新たな同君連合の下で独自性を強め、1905 年平和裏に立憲王国として独立を達成した国の名前を記せ。
- 5 空欄 k と l に入る語句を漢字 2 文字で記せ。
- 6 空欄 k と l の政党を代表する政治家で、1870 年代にイギリス首相をつとめた人物を一人ずつ記せ。
- 7 空欄 m に入る地名を記せ。

V

以下の文章を読み、下記 A、B に答えよ。

第二次世界大戦後の欧州は、米ソを中心とする資本主義圏と社会主義圏の間の分断が深まり、大規模な軍事的衝突こそ生じなかったものの、深刻な対立の状況が生じた。いわゆる冷戦の始まりである。その最前線となったのは、アメリカ合衆国、 a 、 b 、ソ連の 4 ヶ国に分割占領されたドイツであった。ドイツをめぐる対立の激化に伴い、東西陣営の組織化が進み、ドイツは東西に分断され、1949 年、ドイツ連邦共和国（西ドイツ）とドイツ民主共和国（東ドイツ）の 2 つの国家が成立した。

西側陣営の諸国は、アメリカ合衆国の支援と各国政府の政策の結果、経済復興に成功し、政情が安定していった。また、第二次世界大戦への反省から、政治・経済の統合の動きが進んだ。まず、 a や西ドイツが中心となって 1952 年に欧州 e 共同体を設立し、さらに 1957 年に調印されたローマ条約に基づいて欧州経済共同体と欧州 f 共同体が発足した。1967 年にはこれらの運営機関が統合されて欧州共同体となり、1973 年には b など 3 ヶ国がそれに加盟した。さらに 1980 年代には、1970 年代に民主化を実現した 3 つの国が加盟し、欧州共同体は 12 ヶ国体制となった。

東側陣営では、ソ連の主導下で土地改革や計画経済に基づく工業化などが進められた。これらの経済改革には、欧州において後進的な農業地域であった東欧の近代化を進める効果があったものの、東欧諸国では一党独裁の共産主義体制やソ連の統制に対する反発も強かった。スターリンの死去とその後のソ連国内政治や国際情勢の変化を受けて、1950 年代には東欧の一部の国々で自由化を求める運動が起きた。1968 年にはチェコスロヴァキアで改革派の政権が成立し、自由化や経済改革などを実施しようとしたが、それに反対するソ連の対応により、改革の動きは頓挫した。

東西冷戦の対立状況に大きな変化をもたらしたのが、1985 年にソ連の指導者となったゴルバチョフである。ゴルバチョフによる改革政策の実行と外交政策の転換の結果、ソ連内では共産党の一党支配体制が動揺し、東欧でも民主化の動きが加速して社会主義体制が連鎖的に崩壊した。

A 下記の問い1～4について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 下線部 c に関連する以下の文章のうち、誤りを含むものはどれか。

- イ 1948年6月にソ連がベルリン封鎖を行って緊張が高まったが、西側諸国は西ベルリン市民に生活物資を空輸して対抗し、ソ連は1949年5月に封鎖を解除した。
- ロ ソ連は1949年に経済相互援助会議（COMECON）を組織して東欧諸国との経済的な結びつきを強めたが、自主的な路線を追求しようとしたユーゴスラヴィアはこの組織から除名された。
- ハ 西側諸国は1949年、北大西洋条約機構（NATO）を結成し、1955年には主権を回復した西ドイツもNATOに加盟し、西ドイツの再軍備が実現した。
- ニ 西ドイツの再軍備とNATO加盟に反発したソ連は、1955年に友好協力相互援助条約（ワルシャワ条約）を締結してNATOに対抗する軍事同盟を組織し、東ドイツもそれに加盟した。

2 下線部 d に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ アメリカ合衆国が欧州復興のための経済復興援助計画を発表し、西欧諸国はこれに応じるため、1948年に経済協力開発機構（OECD）を設立した。
- ロ イギリスでは、アトリー労働党政権が重要産業の国有化や社会保障制度の整備を進め、福祉国家体制が確立していった。
- ハ フランスでは、アルジェリア危機を契機にドゴールが政権を掌握し、大統領権限を大幅に弱めた第五共和政憲法を成立させた結果、政治が安定化した。
- ニ 西ドイツでは、社会民主党のブランド首相のもとで1954年に締結されたパリ協定によって主権を回復し、経済復興が進んだ。

3 下線部 h に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ スターリンの死後、フルシチョフの指導下で「雪どけ」が進んだが、フルシチョフの失脚後には、キューバ危機が起こるなど再度米ソ間の緊張が高まった。
- ロ ソ連の共産党大会においてフルシチョフがスターリン批判を行ったことを受けて、1953年には、それが伝わった東独の東ベルリンにおいて賃上げなどを求める労働者の暴動が起きた。
- ハ ポーランドでは、ポズナニで現体制を批判する労働者の暴動が起きた後、1949年に党から除名され1951年に逮捕・投獄されていたゴムウカが復権して、経済改革や自由化などを進めたが、ソ連の反発を招き、ゴムウカは処刑された。
- ニ ハンガリーでは、首都のブダペストで改革を求める学生や労働者たちによる大規模なデモが起き、1955年に首相の座を追われ党からも除名されたナジが1956年に首相に復帰して改革を進めようとしたが、ソ連の反発を招き、ナジは処刑された。

4 下線部 j に関する以下の出来事を年代順に正しく記した組み合わせはどれか。

- ① チェコスロヴァキアにおける民衆デモによる共産党指導部の辞任（ビロード革命）
- ② 東西ドイツの統一
- ③ マルタでの米ソ首脳会談における冷戦終結の宣言
- ④ ソ連における保守派のクーデタの失敗

イ ①→②→③→④ ロ ①→③→②→④ ハ ①→③→④→② ニ ③→①→②→④

B 下記の問い1～4について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

- 1 文中の空欄 a と b に入る国名をそれぞれ記せ。
- 2 文中の空欄 e と f に入る語句をそれぞれ漢字で記せ。
- 3 下線部 g の3つの国名を全て記せ。
- 4 下線部 i について、チェコスロヴァキアの改革の動きに対してソ連は具体的にどのような対応を行い、その対応を当時のソ連当局はどのような主張によって正当化したか、140字以内で記せ。句読点も1字と数える。

